



平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月15日

上場会社名 株式会社オークファン 上場取引所 東
 コード番号 3674 URL <http://aucfan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 武永 修一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 濱田 淳二 TEL 03(6809)0951
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	1,818	69.0	113	△50.6	216	△8.2	80	△71.0
28年9月期第2四半期	1,075	84.3	229	193.8	236	206.9	278	55.6

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 94百万円 (△62.3%) 28年9月期第2四半期 251百万円 (49.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	8.20	7.77
28年9月期第2四半期	28.38	28.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第2四半期	4,371	2,374	53.9
28年9月期	4,465	2,279	50.6

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 2,355百万円 28年9月期 2,260百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,815	40.0	415	29.4	461	39.0	321	4.0	32.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期2Q	9,895,000株	28年9月期	9,895,000株
② 期末自己株式数	29年9月期2Q	53,200株	28年9月期	53,200株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期2Q	9,841,800株	28年9月期2Q	9,809,368株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

決算説明資料は当社ウェブサイトです。平成29年6月上旬に、開示する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、創業以来「あらゆる人が、あらゆる場所で、あらゆるモノを売り買いできる新たな時代を創る」というミッションの実現のために、「グローバルな循環型消費社会の先駆者であり続ける」というビジョンを掲げ、世界中の売り買いの指標となる情報とプラットフォームを提供する、唯一無二の企業を目指しております。このために、メディア、マーケットプレイス、ソリューションの3つの事業分野で構成される独自の事業モデルを新たに定義しました。具体的には、ネットオークション・ショッピングの比較検索サイト「オークファン」をはじめとした情報提供(インターネットメディア)事業、卸企業様・メーカー様等を対象とした在庫流動化のマーケットプレイス運営事業及び、法人向けにインターネット上での販売活動支援等を行うソリューション事業を展開しております。

当社グループの事業の対面市場である国内電子商取引市場規模は、消費者向け(BtoC-EC)が平成28年度に8兆43億円(前年比10.6%増、物販系分野のみ)、企業間電子商取引(狭義BtoB-EC)が平成28年度に204兆780億円(前年比1.2%増)と堅調に増加しました(※)。また、上記の市場のみならず、消費者間EC市場(CtoC)もフリーマーケットアプリ、ハンドメイドマーケットなど成長が著しく、平成28年1年間でのフリーマーケットアプリの市場規模が3,052億円と急拡大しており(※)、今後もますます当社グループの対面市場は拡大が見込まれます。

当社グループは、昨年取得いたしました株式会社リバリュー(返品・滞留品など在庫の流動化支援企業)、株式会社スマートソーシング(複数ECの一括管理、商品在庫自動連携システムなどの提供企業)、また株式会社デジファン(企業のオムニチャネル、O2O支援)の継続的な成長と当社グループ間での事業シナジーの拡大に取り組んでまいりました。(株式会社リバリューは、平成28年9月をもって株式会社NETSEAと合併し、株式会社SynaBizとして発足。)さらに、マーケットプレイス、ソリューションではさらなる拡大のため、大阪拠点の新設、海外輸出のための先行投資も行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,818,136千円(前年同四半期比69.0%増)、営業利益は113,487千円(同50.6%減)、経常利益は216,939千円(同8.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は80,701千円(同71.0%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

(メディア)

メディアにつきましては、オークファンプレミアムなどの会員向け有料サービスにおける会員獲得コストの最適化に加え、オークション教育・個別サポートサービス「オークファンスクール」などの周辺サービスの見直し等を行った結果、売上高782,689千円(前年同四半期比10.0%増)、営業利益85,075千円(前年同四半期比38.2%減)となりました。

(マーケットプレイス)

マーケットプレイスにつきましては、第1四半期に引き続き新規の取引先拡大等に注力した結果、売上高811,441千円(前年同四半期比162.4%増)、営業利益93,593千円(前年同四半期比2.2%減)となりました。

(ソリューション)

ソリューションにつきましては、複数のEマーケットプレイスへの同時出品・在庫連動等が可能なASPサービス『タテンポガイドNEXT』の営業体制の立て直しに着手し適正化を行った結果、売上高285,012千円(前年同四半期比299.7%増)、営業損失70,664千円(前年同四半期は営業損失2,854千円)となりました。

※ 出所：平成28年度我が国経済社会の情報化・サービス化に係る基盤整備(電子商取引に関する市場調査)

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、4,371,945千円(前連結会計年度末は4,465,070千円)となりました。

流動資産は、2,004,538千円(前連結会計年度末は2,137,164千円)となりました。主な内訳といたしましては、現金及び預金が1,200,844千円、受取手形及び売掛金が322,709千円であります。

固定資産は2,363,371千円(前連結会計年度末は2,323,248千円)となりました。主な内訳といたしましては、のれんが825,057千円、ソフトウェアが488,999千円であります。

繰延資産は4,036千円(前連結会計年度末は4,657千円)となりました。内訳といたしましては、社債発行費が4,036千円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、1,997,680千円(前連結会計年度末は2,185,441千円)となりました。

流動負債は、1,141,517千円(前連結会計年度末は1,224,153千円)となりました。主な内訳といたしましては、未払金172,660千円、1年内返済予定の長期借入金434,082千円であります。

固定負債は、856,162千円(前連結会計年度末は961,288千円)となりました。主な内訳といたしましては、社債312,500千円、長期借入金543,033千円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、2,374,265千円(前連結会計年度末は2,279,629千円)となりました。主な内訳といたしましては、資本金が676,452千円、資本剰余金が677,499千円、利益剰余金が1,038,528千円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は1,156,244千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益177,658千円、減価償却費131,067千円、のれん償却額77,992千円などの計上に対し、たな卸資産の増加額123,239千円、法人税等の支払額155,000千円などにより、営業活動の結果使用した資金は94,884千円(前年同四半期は415,658千円の獲得)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資有価証券の売却による収入175,719千円などの計上に対し、投資有価証券の取得による支出47,490千円、無形固定資産の取得による支出118,037千円、差入保証金の差入による支出167,037千円などにより、投資活動の結果使用した資金は185,218千円(前年同四半期は64,374千円の使用)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の返済による支出218,153千円、社債の償還による支出62,500千円などの計上に対し、短期借入れによる収入100,000千円、長期借入れによる収入200,000千円などにより、財務活動の結果獲得した資金は6,147千円(前年同四半期は229,953千円の使用)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、投資有価証券の売却による特別利益が発生いたしました。

詳細につきましては、本日(平成29年5月15日)公表いたしました「特別利益(投資有価証券売却益)の発生に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,465,936	1,200,844
受取手形及び売掛金	304,922	322,709
商品	34,907	158,061
貯蔵品	64	150
繰延税金資産	113,864	87,918
その他	220,475	243,931
貸倒引当金	△3,007	△9,077
流動資産合計	2,137,164	2,004,538
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	13,033	10,937
工具、器具及び備品(純額)	39,775	36,260
その他(純額)	1,366	7,609
有形固定資産合計	54,175	54,808
無形固定資産		
のれん	879,050	825,057
ソフトウェア	516,469	488,999
その他	32,196	55,226
無形固定資産合計	1,427,716	1,369,283
投資その他の資産		
投資有価証券	390,306	368,037
繰延税金資産	294,112	249,448
その他	156,938	321,792
投資その他の資産合計	841,357	939,278
固定資産合計	2,323,248	2,363,371
繰延資産		
社債発行費	4,657	4,036
繰延資産合計	4,657	4,036
資産合計	4,465,070	4,371,945
負債の部		
流動負債		
買掛金	99,354	95,945
短期借入金	41,200	128,000
1年内償還予定の社債	125,000	125,000
1年内返済予定の長期借入金	409,700	434,082
未払法人税等	159,242	35,571
未払金	249,672	172,660
賞与引当金	10,000	—
ポイント引当金	1,695	1,319
その他	128,287	148,937
流動負債合計	1,224,153	1,141,517
固定負債		
社債	375,000	312,500
長期借入金	585,568	543,033
その他	720	629
固定負債合計	961,288	856,162
負債合計	2,185,441	1,997,680

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	676,452	676,452
資本剰余金	677,499	677,499
利益剰余金	957,826	1,038,528
自己株式	△43,251	△43,251
株主資本合計	2,268,526	2,349,228
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,942	6,041
その他の包括利益累計額合計	△7,942	6,041
新株予約権	19,044	18,994
純資産合計	2,279,629	2,374,265
負債純資産合計	4,465,070	4,371,945

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	1,075,782	1,818,136
売上原価	241,755	862,518
売上総利益	834,027	955,617
販売費及び一般管理費	604,363	842,130
営業利益	229,663	113,487
営業外収益		
受取利息	1,008	502
為替差益	—	5,432
投資有価証券売却益	45,164	90,349
投資事業組合運用益	—	10,894
その他	4,655	6,280
営業外収益合計	50,828	113,460
営業外費用		
支払利息	7,283	5,120
為替差損	3,462	—
投資事業組合運用損	1,549	—
投資有価証券評価損	20,390	4,221
持分法による投資損失	10,016	—
その他	1,498	665
営業外費用合計	44,200	10,007
経常利益	236,291	216,939
特別利益		
関係会社株式売却益	174,772	—
新株予約権戻入益	—	50
持分変動利益	96,070	—
特別利益合計	270,843	50
特別損失		
段階取得に係る差損	47,659	—
過年度決算訂正関連費用	—	39,331
その他	1,486	—
特別損失合計	49,145	39,331
税金等調整前四半期純利益	457,989	177,658
法人税、住民税及び事業税	150,935	32,406
法人税等調整額	29,358	64,549
法人税等合計	180,294	96,956
四半期純利益	277,694	80,701
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	278,423	80,701
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△729	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,242	13,984
その他の包括利益合計	△26,242	13,984
四半期包括利益	251,451	94,686
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	252,180	94,686
非支配株主に係る四半期包括利益	△729	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	457,989	177,658
減価償却費	121,978	131,067
のれん償却額	60,008	77,992
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,068	6,069
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,000	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,250	△10,000
ポイント引当金の増減額(△は減少)	489	△375
受取利息及び受取配当金	△1,008	△502
支払利息	7,283	5,120
持分法による投資損益(△は益)	10,016	—
投資事業組合運用損益(△は益)	1,549	△10,894
関係会社株式売却損益(△は益)	△174,772	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△45,164	△90,349
投資有価証券評価損益(△は益)	20,390	4,221
段階取得に係る差損益(△は益)	47,659	—
持分変動損益(△は益)	△96,070	—
売上債権の増減額(△は増加)	△22,328	△17,786
たな卸資産の増減額(△は増加)	641	△123,239
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,689	△3,409
未払金の増減額(△は減少)	△9,710	△74,421
その他	19,319	△6,258
小計	379,400	64,891
利息及び配当金の受取額	1,008	502
利息の支払額	△7,099	△5,277
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	42,349	△155,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	415,658	△94,884
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	58,144	175,719
投資有価証券の取得による支出	△54,243	△47,490
貸付けによる支出	△100,000	—
貸付金の回収による収入	44,999	—
有形固定資産の取得による支出	△3,924	△11,972
無形固定資産の取得による支出	△125,862	△118,037
差入保証金の回収による収入	194	—
差入保証金の差入による支出	△59,044	△167,037
事業譲受による支出	—	△24,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△36,877	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	215,209	—
その他	△2,969	7,598
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64,374	△185,218
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	223,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△200,000	△13,200
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△197,760	△218,153
社債の償還による支出	△62,500	△62,500
株式の発行による収入	1,560	—
新株予約権の発行による収入	5,747	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△229,953	6,147
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,462	5,263
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	124,793	△268,692
現金及び現金同等物の期首残高	1,402,568	1,424,936
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,527,362	1,156,244

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(重要な後発事象)

(投資有価証券の売却)

当社は、平成29年5月15日開催の取締役会において、当社が保有する投資有価証券の一部を売却することを決議し、同日に売却いたしました。これにより、平成29年9月期第3四半期連結会計期間に投資有価証券売却益約382百万円(見込み)を特別利益として計上いたします。

(1) 投資有価証券の売却理由

保有有価証券の見直し及び資産の効率化を図るため

(2) 投資有価証券の売却の内容

- ① 売却株式銘柄 当社保有非上場有価証券1銘柄
- ② 売却日 平成29年5月15日
- ③ 投資有価証券売却益 約382百万円(見込み)